

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年8月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103193
法人名	社会福祉法人松恵会
事業所名	グループホームほのぼの
所在地	鹿児島市西別府町1801番地 (電話) 099-283-7112
自己評価作成日	平成30年7月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成30年8月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームほのぼのは、自然に恵まれ小鳥のさえずりが聞こえ、朝日に目覚め夕日を楽しむ環境にあります。入居者様は、穏やかなぬくもりに満ちた優しい気持ちで入居者様同士声を掛け合い、楽しみながら生活されています。スタッフは、高齢で介護度の重い方が多い中、入居者様ができない事を一緒に手助けしながらゆったりと過ごされるよう心がけています。年間の行事に認知症対策の臨床美術を取り入れ利用者様の楽しみになっています。又外出は利用者様やご家族様の希望を取り入れ、その方にあった個別処遇などを計画しております。入居様の喜び寂しさは寄り添い少しでも小さくできるよう支援しています。又御家族や地域の方々と交流できるように民生委員の方々の協力や情報を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ ホームは、市郊外の閑静で自然豊かな地域の広い敷地に、同法人の特別養護老人ホームやデイサービス、協力医療機関等と共に設置されており、敷地には多種の樹木や草花が植えられ、周辺の景色と共に四季を感じながら平穏に生活できる環境である。法人全体の情報の共有が図られ、災害や緊急時の協力体制は十分に構築されており、職員研修等は合同で実施している。地域の民家とは少し離れているが、清掃活動やイベントへの参加、ボランティアの受け入れなど、工夫しながら地域との交流に積極的に取り組んでいる。

○ 管理者及び職員は、地域密着型サービスの意義をふまえた理念に沿って、利用者の誇りや尊厳を大切に思いや意向を把握し、安全を確保しながら生きがいのある支援に努めている。起床や食事、入浴等の時間は、利用者の習慣を尊重して柔軟に支援しており、また、外部講師(有資格者)による臨床美術に、利用者は五感を駆使しながら熱心に取り組んでおり、作品は小学校の文化祭に出展する等楽しみとなっている。

○ 管理者は、日頃の職員とのコミュニケーションの中で信頼関係や協力体制の構築に努め、意向や要望等を把握して職場内研修の実施や日頃のケアに関する助言・指導に取り組んで、業務の改善やサービスの向上を図っている。勤務シフトの作成や外部研修の受講には可能な限り本人の意向を反映するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでおり、職員のスキルアップを図る研修の受講や資格取得に対する法人の支援体制も確立されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り後理念を唱和しております。理念を良く理解し、実践につなげております。	地域密着型サービスの意義を踏まえたホームの理念を、玄関やスタッフ室、台所に掲示し、毎朝申し送り時に唱和して共有を図っており、申し送りやスタッフ会議時にケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿った支援の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域民生委員の方々との協力や情報を頂き、地域の神社のしめ縄作りや掃除に入居者様をお連れして地域の方々との交流しております。	民家と少し離れているものの、神社のしめ縄づくりやごみステーションの清掃活動、文化祭に利用者の作品出展、踊りや楽器演奏等のボランティアの受け入れなど、工夫しながら可能な限り地域との交流に取り組んでいる。日頃の散歩や買い物、通院時に地域の人々と会話し、家族及び友人知人の来訪、短大生の実習等を積極的受け入れ、日常的に農産物を頂くなどの交流も図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の商店に行き、買い物しながら入居者様をお連れして会話が弾めます。秋の田上小学校の文化祭に臨床美術を出店し、ほのぼのを知って頂く機会を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回の運営推進会議を開催し、臨床美術・避難訓練などに参加して頂き、意見を頂いています。</p>	<p>会議は利用者、家族、民生委員、調剤薬局の薬剤師、長寿あんしん相談センター職員等が参加して定期的開催している。ホームの現況や行事、ヒヤリハット等の報告を行い、委員からはケアや環境整備に関する質問や地域の情報等が出されており、委員の助言により、利用者には臨床美術を取り入れる等サービスの向上や改善に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に毎回参加していただき実績や取組を伝えております。又相談などで連携を取り協力体制を築いています。毎年介護相談員の受け入れも行っていきます。</p>	<p>長寿あんしん相談センター職員には、運営推進会議に出席してもらうと共に、市担当職員とは介護保険更新やホームの運営や利用者のケアに関わる相談等を行って助言・指導を頂くなど、協力関係を築いている。行政主催の会合や研修会等に積極的に参加し、介護相談員も受け入れてサービスの向上に務めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し法人全体での定期的な勉強会や毎月の話し合いなので、禁止の対象になる具体的な行為を、理解できるように職員の認識を図っています。又玄関には鍵をかけず、職員同士の連携で安全な生活を支援しております。</p>	<p>身体拘束に関する研修を法人全体およびホーム独自で計画的に実施し、委員会も定期的開催して共通の認識を図っており、利用者の尊厳やプライバシーに配慮した言葉づかいやケアの方法を、日頃のケアの中やスタッフ会議等で話し合っ実践に努めている。昼間は玄関等の施錠は行わず、外出したがる利用者には寄り添いや散歩の同伴に努めて安全を確保するなど、自由な暮らしの支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等について学び、スタッフ全員で研修会やスタッフ会議で学ぶ機会を作っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員研修会・スキルアップ研修会等で学ぶ機会を作っています。又運営推進会議で、地域包括支援センターの職員に助言を頂いています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に重要事項説明書、契約書、個人情報に関する説明同意後、質問等ないか確認しています。又改定時には、直接説明し確認しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常の面会、家族会、行事参加、電話連絡時、運営推進会議で家族からの意見要望をお聞きしています。職員全員が、家族から出された要望等について、全員で検討、改善に繋げています。	利用開始時に利用者や家族から要望等を聞き取り、入居後は利用者の思いを日常会話や表情、仕草等から把握している。家族とは面会や運営推進会議、家族会、ケアプラン見直し時、家族アンケートの実施等で気軽に意見を出して貰い、職員全員で対応を検討してサービスの改善に取り組んでいる。検討の結果は、本人や家族にも説明して理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月始めに全員参加でスタッフ会議を行っています。その中で意見交換し、話し合います。専門的な相談事は、主治医や専門の方などに相談し臨時でスタッフ会議を行っています。	管理者は日頃より職員とのコミュニケーションに努め、業務の中やスタッフ会議、個人面談等で業務に関する意見、要望、個人的な悩み等を把握し、協議しながら業務の改善やサービス向上に繋げている。勤務シフトや外部研修の参加等は可能な限り職員の希望を反映させると共に、資格取得やスキルアップを積極的にバックアップする等、働きやすい職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、労働時間の改善や給与面の見直しを行い、常に環境整備に努め、管理者の意見に耳を傾ける機会を作っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や段階に応じて研修を推進しております。隣接している病院での研修にも全員参加しスキルを上げる機会を作っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し職員研修会に参加しています。法人外のグループホームの管理者会議にも参加して情報交換などでサービスの質を向上する取組をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者様の、新しい住まいや出会いの不安を和らげる為、出来るだけ寄り添いながらお話をお聞きしながら、不安を少しでも取り除き信頼関係を築けるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居された時、これまでのご家族様の悩みごとをお聞きし、穏やかに過ごして頂けるように、スタッフ一同支援する事をお伝えしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人やご家族の希望などお聞きし、ご本人・御家族の必と要とされる支援を見極め、スタッフとカンファレンスし支援して行きます。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中で、昔話や家事との手伝いの中から、教わる事手助けする事を見つけ出し、入居者の声を傾聴し築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の立場になり、面会や担当者会議、園内活動などで、悩み・喜びをお聞きし、安心できる環境作りが出来るように支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族以外にお友達が面会に来て下さっています。個別処遇で昔住んでいた地域やお店・墓参り・自宅の掃除、親戚との交流に行き支援に努めています。	入所前の生活状況や馴染みの情報を「利用者状況」で共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり過ごせるように配慮し、電話や手紙の取り次ぎに努め、希望に沿って散歩や買い物、外食、一時帰宅、墓参り等を家族と協力して支援している。また、毎月発行の苑便りで利用者の状況を伝え、和服姿の利用者の写真を年賀状にして送付するなど、馴染みの人や場との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の個性を尊重し、一人一人が個性を生かせるように、声掛けやコミュニケーションを取れるような環境が出来るように、職員の話し合いで支援出来るように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された後も、ご家族や利用者の近状報告や面会に行き話をお聞きしています。再入居の事例もあります。御家族からの、紹介の入居者の申し込みも増えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	何気ない日常の生活や会話の中から、本人の思いを引き出しています。又御家族のお話をお聞きし、職員との係わりの中から見出せる事なども、検討しています。	利用者の思いや意向を、日頃の関わりの中で理解に努め、申し送りやスタッフ会議等で共有して、最善のケアとなるよう取り組んでいる。その人らしい生活が過ごせるように生活習慣に配慮し、余暇時間の取り組みも読書や脳トレ、ぬり絵等を希望に添って実施する等、可能な限り個別の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話やご家族協力を頂いて出来るだけ把握するように努めています。会話の中での表情などでその方の思いに気づき触れ合い、個別処遇などや馴染みの場所にお連れしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の性格や体調によって出来る事や出来ない事などを把握し、気づいた事をスタッフ間で話し合いを持ち、皆様に満足頂ける支援に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族の希望をお聞きして、趣味や生活習慣、馴染みの場所や人との係わりなど、個別の介護計画を作成しています。スタッフと定期的にモニタリングを行い、変化があればその都度、見直しを行っています。	本人及び家族の希望や主治医の意見、助言等を把握し、日々の記録やカンファレンスでの意見を基に、具体的で解りやすい介護計画を作成している。ケアの状況は「介護日誌」「バイタルチェック表」等で共有し、本人主体のケアの実践に努めている。定期的な見直しに加え、状態変化時には計画の修正を行うなど、実状に即した支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎週火曜日はカンファレンス・月1回のスタッフ会議でその都度お一人ずつの確認をし、気付いた事をケアにいかしています。日々の生活などでの気づきや、ご家族の思いなどは、ノートに記録し全員が把握するようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の体調や思いに触れる中で生活の中から楽しみを見つけ出しています。突然の身内の葬儀なども、職員がお連れする事も行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の消防訓練は、消防署の方々の協力を頂いております。地域の方々との触れ合いに出向いて行ったり、地域のボランティアの受け入れも行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の希望をお聞きしかかりつけ医で定期的に受診及び検診を行い健康管理に努めています。又専門の治療が必要な場合は、ご家族の希望を踏まえ、希望の病院を受診しています。	各利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受療を支援している。通院は家族と協力して支援し、病状の変化や服薬の状況等を密に連携を図って把握しており、受診結果は「介護日誌」等で共有している。また、協力医療機関が同一敷地内にあり、24時間連携が図られて利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院や特養ホームの看護師に利用者の情報や悩みごとなどの相談をしております。体調変化などは、すぐに訪問して頂き適切な受診や看護を受けられます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常に協力病院のソーシャルワーカーやケアマネージャーに相談や情報提供をしています。入院後はまめに足を運び、入院先で安心されるよう情報提供しています。又本人・家族の希望や相談をお聞きし本人の希望がかなうように支援しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族や本人の意向を1番に考えています。入居前や家族会・面会などで相談しやすい関係を作っています。現在看取り事例が5件。主治医・看護師・地域民生委員、職員とチームになり、本人とご家族の支援に取り組んでいます。	重度化や終末期の対応は「重度化した場合における看取りの指針」を整備して、入所時に本人や家族に説明している。利用者が重度化した時点で、主治医から病状が説明され、職員や関係者、家族は十分な話し合いを実施して、可能な限り希望に添った支援体制を構築して取り組んでいる。これまで5件の看取りを実施しており、その都度、振り返り等を行ってスキルアップや職員の不安の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会の実技や看護師を交えて勉強会を行い急変時に対応出来る体制を取っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練・他に年2回の自主訓練を行い運営推進委員の参加もあり理解も頂いています。防災カードを家族の希望で設置し災害対策を行っている。	消防署の協力を得て、年2回夜間も含む火災や風水害、地震を想定した避難訓練を運営推進委員の参加を得て実施し、災害に関する講話や消火器等の取扱い研修も行われている。防災頭巾やネームプレートを各居室に設置し、報道された災害事例を基に意見交換するなど、日頃から災害対策への認識を深めている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置及び連絡網が整備され、災害時の食料・飲料水の備蓄、ラジオ、卓上コンロ等も備えている。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の性格や体調によって出来る事や出来ない事などを把握し、気づいた事をスタッフ間で話し合いを持ち、皆様に満足頂ける支援に努めています。	プライバシーの確保や個人情報保護については計画的な研修の実施で周知を図り、常に尊厳に配慮したケアの実践に努めている。特に居室への入室や排泄・入浴・更衣等のケアに際しては、傷つける言葉や対応を行わないように配慮しており、居室やトイレ、浴室等はプライバシーが確保された構造になっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の話に耳を傾け、日常生活の中で思いや希望を見つけ出す努力をしています。思いを表現できにくい方は、表情などで汲み取り自己決定を、働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人一人の調子に合わせて、お好きな事を見出し、職員も共に楽しみ、幅を広げられるようにその方らしい暮らしに沿って支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人のお好みや、ご家族の話をよく聞き、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を出来るだけ使い、食事の準備や後片付けなども手伝って頂いています。食材は、地域の物産館と一緒に外向き楽しみを見つけれられるように支援しています。	利用者の好みや形態、栄養バランス、季節感等に配慮した食事の提供に努めている。利用者も一緒に食材の買い出しに行き、食事の準備や後片付け等は利用者も楽しみながら行っている。行事食やレストランでの外食、手作りのおやつ、弁当持参の花見、ホームでのソーメン流し等、食事が楽しみなものになるよう工夫し、利用者毎に食事や水分の摂取量を把握している。口腔ケアもプランに沿って適切に支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人ひとりの体調に合わせバランス良く摂取出来るように、食事形態や水分補給も工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、お一人一人の状態に合わせて口腔ケアを支援されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者それぞれの排泄パターンを把握し時間を見て声掛け誘導し排泄の自立を支援しています。日中、布パンツの使用が4名に増えています。	利用者の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援しており、リハパンから布パンツへの変更や失禁の減少等の改善が見られている。食事の摂取状況や水分補給、運動量等も把握しながら便秘の予防にも取り組んでいる。支援に際しては、羞恥心や不安感の軽減に配慮し、各利用者の状態に応じて介護用品の工夫や支援方法等を介護計画に反映させて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤の使用の方がいますが、なるべく自然な排便が出来るように確実な水分摂津や食材に気を付けることや、運動不足も便秘の原因に考えられるので足踏み運動・外への散歩なども取り入れています。	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お一人一人の体調に合わせて、基本は週3回。希望を尊重して入浴しています。シャワー浴や浴槽に入られる方など体調に合わせてます。	利用者の健康状態を把握し、足浴や清拭も含め週3回の入浴を基本としているが、排泄の失敗等には即時に清拭や入浴で清潔を保っている。予定外の入浴や時間、温度等は希望に添って柔軟に対応し、ゆっくりと入浴を楽しめるように配慮している。入浴を渋る利用者には、時間の変更や声掛け等を工夫して本人の意欲を待つように努めて支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	その方にあった休憩や希望を取 り入れ、夜間寝つきが悪い時な ど話をお聞きする時間を持ち、 ゆっくり休まれるように支援し ています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	入居者全員の薬リストを作成し 職員全員が把握できるようにし ています。又、居宅管理指導を 導入しており、薬剤師からの指 導を職員全員受けて理解に努め ています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	その方に合った家事手伝いや役 割を見つけ出し感じて頂けるよ うにしています。臨床美術は、 年3回開催し、田上小学校の文 化祭に出品する楽しみも支援し ています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	年6回の園外活動や、ご家族ご 本人の希望をお聞きし、個別処 遇で墓参り・買い物・陶芸等に 出かけています。日常では、買 い物や地域の掃除に出かけてい ます。	利用者の外出への意向は日常の関 わりの中で把握し、希望に沿っ て散歩や買い物、通院、一時帰 宅、ドライブ等の外出を個別の 支援を含め、家族と協力して支 援している。また、ホーム全体 でも年6回、季節の花見や外食 、水族館、フルーツ狩り等を計 画し、家族も同行して、利用者 の気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>普段はお金を所持することはありませんが、個別処遇でお土産やご自分の食べたい物を購入されています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の希望があればすぐに対応しています。又御家族からのお手紙や贈り物には、ご家族に電話して直接お話しして頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度・湿度・トイレの臭いなど体調管理に気を付けています。玄関・食堂には、季節の花を生けて頂き楽しんでいます。居室はその方のお好きな物や懐かしいものに囲まれる落ちつけるお部屋に心がけています。</p>	<p>リビングの一角には対面キッチンが設置され、テーブルセットやテレビ、ソファ等が利用者の動線や利便性を考慮して配置されて、和やかで落ち着いた雰囲気となっている。随所に利用者の作品等が飾られ、清掃や整頓、空調、異臭、衛生面に細かに配慮して、気持ちよく過ごせる環境整備に取り組んでいる。リビングから園庭に出られ、利用者は四季を感じながら日光浴や散歩を楽しんでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>お一人ひとりの個性を尊重し、自由にくつろいで頂いています。皆様仲良し同士での話が弾まれています。皆様でお手伝いをされています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅で普段使われていた物や、好きな物をご家族に持って来て頂き、ご家族との会話が弾まれています。</p>	<p>各居室は明るく落ち着いた雰囲気、エアコン、ベッド、タンス、洗面台が、利用者の身体状況に配慮して設置され、利用者の意向に沿って整理整頓や清掃を支援するなど、安全で快適な生活の維持に取り組んでいる。使い慣れた寝具や家族写真、小物等を自由に持ち込み、また、自身の作品も飾って、その人らしい和やかで居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様に合った部屋を作り、動きやすく繰り返しの中から、出来る事を工夫しています。車椅子の方でも洗濯物を膝に置き居室に持って行かれるよう支援しています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない